



「アジアの国々には日本を見ている。その注目を集めるべき日本はRS11が大好きな国だ。うれしい限りです」

日本には特別にホイールのオーダーカラーを展開

東京オートサロンでW213 Eクラスをお披露目したロリンザー。それに合わせてその総帥であるロリンザー氏とセールス・マネージャーのハッチコイツ・デイス氏が来日。両名に2017年の展望を語ってもらった。

「2016年はメルセデス自体のモデルレンジが広がり、チューニングの幅が広がりました。2017年はとくにSクラスのマイナーチェンジ、新しいGクラスも登場すると予想されるので、素早く対応していきたいです。さらに用品だけでなくコンプライトカーも販売できる体制が日本では整っているの、これらについても力強く参入していきたいと考えています。今年はそれぞれの国に応じた展開を考えているのですが、例えば日本ではオリジナルカラーのオーダーができるホイールを新作のRS11で考えています。通常は2種類のカラーで設定しているのですが、オプションでブラッシュドや他のカラーも受け付ける予定です。チューナー



輸入「マイナーチェンジされるW222 SクラスもW213のよりリアルなタイプで乗り応えよう」と今後の展望を語ってくれた。

「最新プロジェクトとしては、エッセンで発表のGLSクラスも注目です。メルセデス伝統のグリルが特徴です。またRS10は今まで21インチのみでしたが、エッセンで発表した鍛造23インチのRS10も注目です。」

「でも柔軟に対応できる斬新なプログラムです。鍛造ホイールなのでそのキヤラクターを活かそうかと考えています。かなりフレキシブルにそれぞれのマーケットに応じた展開を思い描いています」とサブライズを發表してくれたロリンザー氏は、エアロに関しては「どうなんだろう？」続けてハッチ氏が言うには、「今回、W213 Eクラスを發表しました。リアタイプとすることでメルセデスに備わるリーダーセーフティが問題なく機能できるようになっています。バンパーとは違うイメージを打ち出し、AMGスタイルリングパッケージ車とともにスポーティに仕上げたいというのが、今回の弊社のアプローチになります。カーボンをリアタイプに採用したのも初めての試みでしたが好評でした」



Marcus Lorinser氏
「高級クルマに対してチューニングをする市場が日本にはありません。それに對して、しっかりローリングしています」



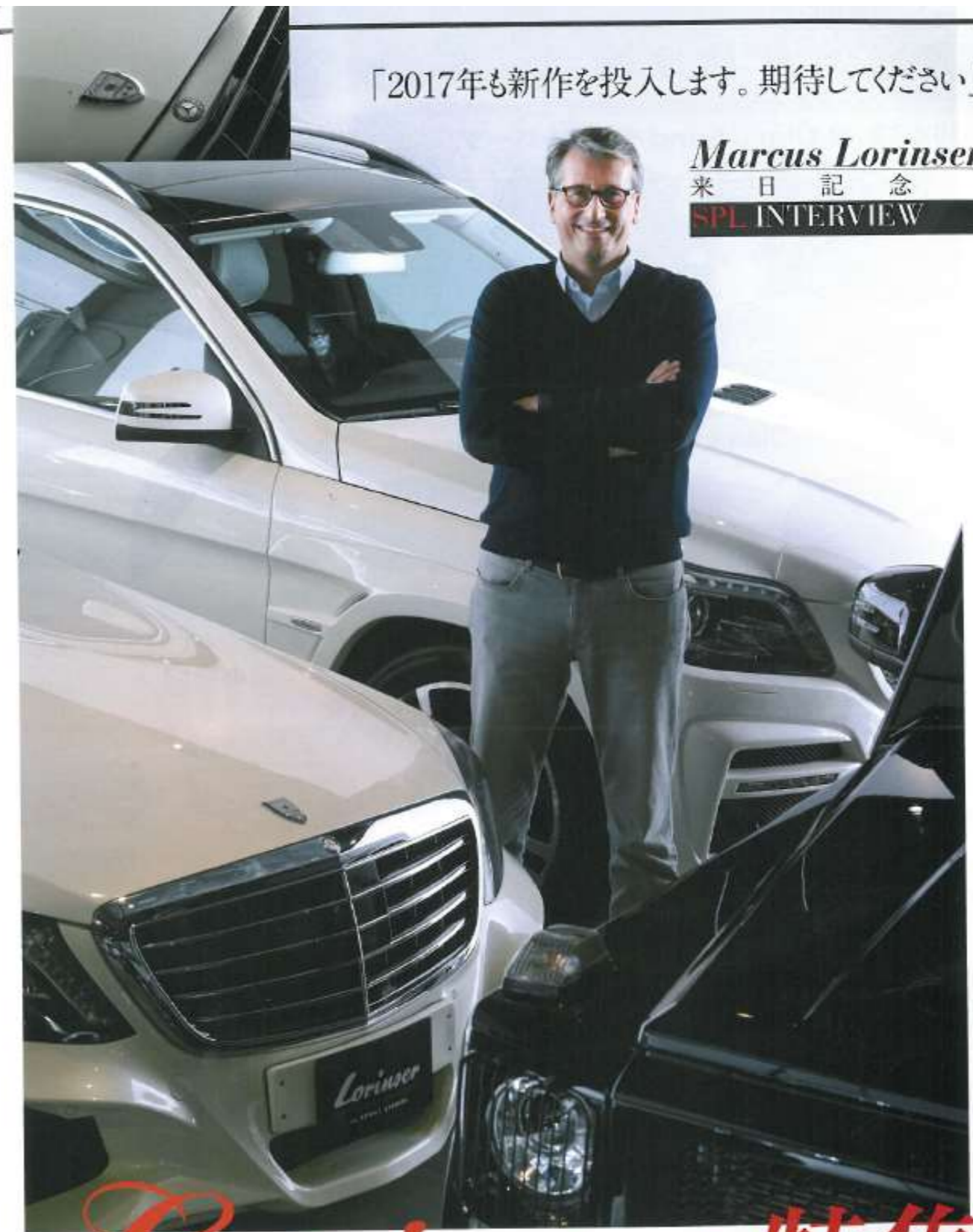
新作のRS11はモノブロックの鍛造。設定カラーはヒマラヤグレーポリッシュとブラックポリッシュ。それとは別に日本でのみオーダーカラーを受け付ける予定



GLSはユーザーからの要望をフィードバックした結果、大きなグリルが備わったデザインを採用。日本での発表デビューが楽しみ

「2017年も新作を投入します。期待してください」

Marcus Lorinser
来日記念
SPL INTERVIEW



Lorinser 特集

今回、東京オートサロンに合わせて来日したロリンザー氏のインタビューに加え、新たに発表したW213 Eクラス、新作ホイールを早速レポート。2017年のロリンザーの動向をここでひも解く。

ロリンザージャパン 06-6832-3666 <http://www.lorinser.co.jp/>
PHOTO: 清水良太



純正形状を生かしたカーボンリップスポイラー
3ピース構成となるフロントリップスポイラーはベースデザインを引き継ぎながらも、スポーティさを強調。シンプルではあるがカーボン素材を採用し、ボトムラインを生かしたロリンザーらしい仕上がりになっている。

SPEC
フロントリップスポイラー-Carbon ¥329,400
サイドスカートリップセット-Carbon ¥426,600
リアディフューザー-Carbon ¥537,200
リアデッキスポイラー-Carbon ¥210,600
サイドミラートリムCarbon (LHD用) ¥199,800
リアマフラー ¥415,800
ロウリングモジュール ¥388,800
スプリングキット ¥91,800
ホイール:RS11 (F9×2) 37 F110.5×21 44) ¥453,600 (税) ¥489,800
エントランスパネルイルミネーション ¥129,600
フロアマット ¥59,400
アルミペダルセット ¥43,200
サイドデカールセット ¥32,400



サイドスカートはフロントドア下から後出ししたリップタイプを採用。リアホイール手前がカーブ形状にハネ上げるなど、小振りながらも存在感の高いデザインとなっている。



新作ホイール-RS11は21インチ鍛造モデル。レギュラーカラーはヒマラヤブルーとブラックポリッシュの2色限定だがオプションでカラーがカスタムできるプランも用意されている。



上下が引き締まり、エレガントスポーティなリアビュー

リアデッキスポイラーはボディデザインに合った絶妙なラインを形成。またフロントと前後にディフューザーは3ピース構成となるが、カーボン素材の合わせ面などは最もそのもの。リアマフラーはオーソドックスな出し

インテリアにもロリンザーテイストが、フロアマットは右ハンドル用として本番で製作。アルミペダルセット、パネルイルミネーションなど、合わせてチョイスしたいアイテムが揃う。

シンプルながら構成ながらもしっかりと各部にこだわりが。最近のロリンザーといえば、SクラスやCクラスに代表されるような曲面や曲線を多用した、先進的なスタイルをイメージする人が多いはず。昨年のエッセンモーターショーで登場したW213 Eクラスは、そんな流れと違いつつかわってミニマルなエアロパーツを装着したエレガントなスタイルに仕上がっている。

この理由は自動運転技術を進めるW213のセンサーにある。W213には実に13個ものセンサーが備えられており、純正機能を最優先した結果、ハーフタイプをセレクト。限られたスペースの中でいかにロリンザーらしさを表現するかを追求したということだ。

W213ボディキットのパーツ構成は、フロント、サイド、リアディフューザー、デッキスポイラーの4点。いずれのパーツもシンプルながらもチューナーならではのエッセンスが注ぎ込まれている。

フロントリップスポイラーはボトムラインをつなぐ形状で3ピース構成を採用。落ち着いた雰囲気ながらスポーティ度はムンムンだ。そしてフロントドア下から後出しするサイドスカートはリアホイール手前がカーブ状に跳ね上げられてフィニッシュ。その流れを汲んだリアディフューザーはサイドからエキゾースト上部へとラインを構成。こちらも3ピースとなっており、ジョイント部のカーボン地の合わせ面などを見ると、さすがロリンザーといえるほど緻密



そのものだ。またリアディフューザーは中央部をくぼませ、トランクのラインに沿ったデザイン。横から見ると角度を立たせた設定となっており、小振りではあるがクッとレシーな佇まいとなっている。

撮影車両には装着されている新作ホイール、RS11は21インチ鍛造モデル。サンブルとして天面のみポリッシュアップ仕様としているが、なんとこのモデル、日本でブラッシュエドなどの表面処理を施すことも可能というからウレシイ限りだ。

制約の多い条件下で、シンプルながらもしっかりとロリンザーらしい仕上がりのW213。今後の新たな方向性がうかがえるモデルといえる。



ミニマルなエアロで魅せる
新たなロリンザースタイル

Lorinser
W213 E-Class



SPEC
 SIZE
 9.0x20.44 ¥432,000
 10.5x20.44 ¥448,200
 9.0x21.44 ¥453,000
 10.5x21.44 ¥469,900
 COLOR: Himalaya Grey Polish/Black Polish



一眼で見ると見るス
 ポークがしっかりと
 と強度を確保。ユニ
 ックなフォーストス
 ークは重やかながら
 しっかりとした安定
 感を感じさせる。

最新デザインをさらに楽しむ
 カラーカスタムプランも用意
 RS8やRS9など数々のヒット
 作を打ち出してきたロリンザーが新
 たに投入するホイールがモノプロ
 ク1ピースのRS11だ。最新デザイ
 ンを追求した印象で、幾何学的な形
 状のツイストスポークが特長的。華
 やかさを感じる親身のスポークに見
 えるが、そこはチューナー、じっか
 りとした強度を確保しており、足元
 をしっかりと支えてくれる。
 このRS11には、レギネラー2色
 以外にオプションでカスタムプラン
 が用意されている。レッドポリッシ
 ャやアルポリッシュ、ブラッシュド
 ゴールドなど、流行りのカラーリ
 ングが施せるので様々なパリエー
 ションが楽しめるのだ。

NEW WHEELS RS11 Forged Monoblock

PHOTO:白岩 賢



センターオーナメント
 はもちろん、リム部に
 もしっかりと刻まれる
 ブランドロゴ。メルセ
 デスを知らずくしたチ
 ューナーの証が光る。

ツイストスポークで足元を華やかに

Lorinser W463 G-Class



押し出しのグッと押し、スポーティな印象
 を持ったフロントフェイス。鋭角的なフェイス
 ンが特徴的なセンターのアンタールカーニッ
 左右のグッと押し出しの目印がアクセント。



車庫にホイルを束ねる
 のはRS11の高級感。メ
 ル。方々の車庫にホ
 イルを束ねる。メ
 ル。方々の車庫にホ
 イルを束ねる。メ
 ル。方々の車庫にホ
 イルを束ねる。メ



質実剛健、迫力のロリンザー・ワイドボディ!



最新のワイドボディ
 などでサイドの幅が
 広がってボディの
 印象がよりスポー
 ティな印象を受け
 る。



SPEC
 フロントスイイラー-PTS ¥518,400
 (※Lorinser Fフレンド)
 ステンレスパネル ¥54,000
 (※Lorinser Fフレンド用)
 フロントグリルMer Lorinserロゴ ¥172,000
 リアスカート ¥383,000(※Lorinser Rフレンド)
 テールライトカバーセット ¥140,400
 サイドスカートセットMer Logo ¥253,800
 フロントフェンダーセット ¥234,500
 (※Lorinser Fフレンド)
 リアフェンダーセット ¥313,200
 (※Lorinser Rフレンド)
 ドアパネルセットMer Logo ¥610,200
 リアルーフトイルー ¥145,800
 スペアタイヤカバー ¥194,400

クロームルックとは
 ひと味違ったまじり感
 Gクラス・ワイドボディはロリン
 ザーの中でも高い人気を誇るモデル
 だ。左右に大きくタクトを備え、セ
 ンターのアンタールカーニッが特
 徴的なフロントバンパーは、ディス
 トロニック制動、角の張った前後オ
 ーリング、エンターによって無骨さが
 増し、サイドのドアパネルが膝下の
 重厚感を高める。ドッシリと安定し
 た印象を与えている。
 またリアエクステンションでも、作り込
 まれたディフューザーデザインのリ
 アスカートと、高い人気のスベアケ
 イヤカバー、ルーフトイルーにより

つてスキのない仕上げが
 このワイドボディ、カクログや広
 瀬曲線ではフロントグリルやスベア
 タイヤカバーなどをクロームルック
 で仕上げているが、今回の取付中
 はボディ同色化。これによりまた
 ひと味違ったまじり感となり、新
 なイメージとなっている。



シートカバーは
 コンプリートカー
 の設定としてシート
 パーツをオプション
 格納されている。ア
 ルミウムパネルセッ
 トは必ず購入して
 ください。